

令和2年度教育行政アンケートの結果と考察 (ダイジェスト版)

令和2年10月実施
葛尾村教育委員会

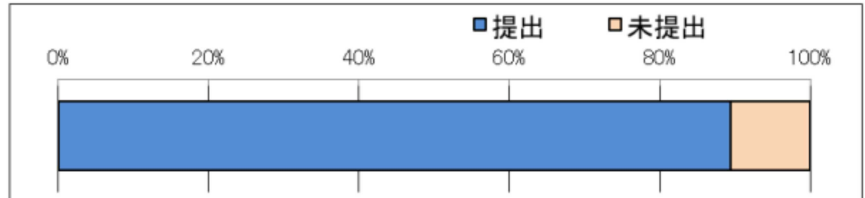
【村の教育への関心】

1. アンケートの提出状況について

【考察】

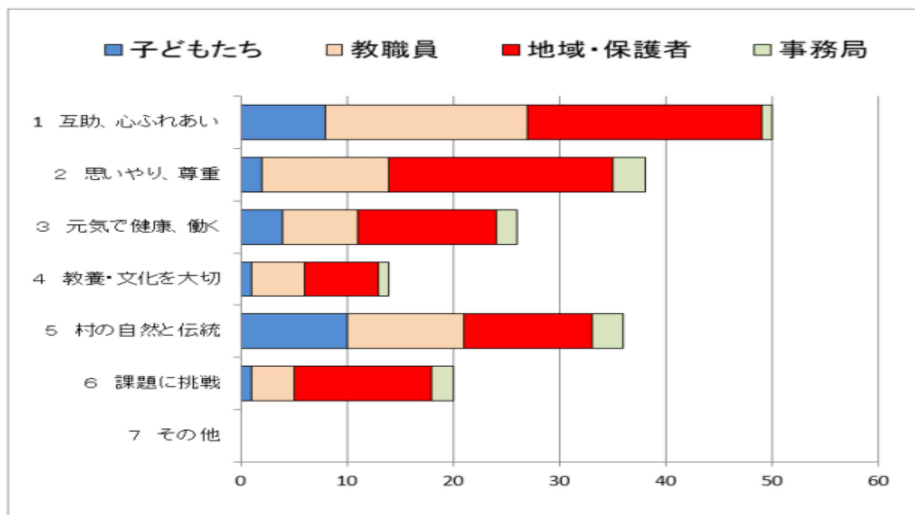
アンケートは、103名の方々(小中学生13名、教職員28名、保護者8名、地域住民48名、教育委員会事務局6名)に

依頼。そのうち92名から回収。未提出は11名でした。提出の割合は89%であり、教育への関心が低くないことが見て取れます。



【村の教育全般に関して】

2. 葛尾村は、どのような村でありたいですか(○を2つ)



【考察】

子どもたち、保護者、教職員、地域の方々ともに、傾向は大きくは変わらず、「ふれあい」「村の自然・伝統」「思いやり」などを大切にしたいと考えています。上位の4項目については、昨年度(令和元年度)と同じ結果ですが、「思いやり」が昨年3位から



2位に。また、今年度「課題に挑戦」が増加しました

3. 葛尾村の素晴らしいところは、なくてはならないものは、どのようなものですか(抜粋)

(児童・生徒)

- ・生きものがいっぱいいるところ。しぜんがいっぱいあるところ
- ・いしいしょくどうのラーメンがおいしいところ。山がきれいなところ
- ・自然が、多いところ。伝統、特産品
- ・みんなが、助け合っている。
- ・葛尾村民の心の温かさ。自然が豊かなところ
- ・あぜりあと、みずがおいしいところ
- ・自然がいっぱいなところ・自然が豊かなところ、みんな親切なところ
- ・葛尾小中学校の教育に力を入れていて、iPadや本のプレゼントをしているところ。住民の方々がみんなあいさつをしてくれるところ
- ・森、動物、交流が素晴らしい。
- ・自然が豊かで、静かで、暮らしやすいところがいいところだと思います

(保護者・地域住民・教職員)

- ・チャレンジできるところ
- ・子どもの笑顔

《自然》

- ◎自然の豊かさ、素晴らしい自然と共存できるところ。景色、冬の景色が素晴らしい
- ・季節の移り変わりと川の美しさ。葛尾の大自然は素晴らしく、自慢できる所だと思います
- ・春・秋の景色がとても良くゴミも見当たらない。道路脇の草等も適切な時期に刈り取りしてくれて、住みやすく、とても良いと思います
- ・自然、星空の輝き、空気のおいしさ、きれいなところ

《人間性》

- ◎人情味ある心豊かな村民が多い。顔見知りが多く、どこでもどんなときでも挨拶を交わす村である。
- ◎地域住民のつながり
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症のために、なかなか難しいが、村内の皆さんが学校を訪れて交流する機会があること
- ・村民一人一人を大切にしている取り組み
- ・年長者への尊敬と思いやり
- ・共助の心で共に助け合う村・人とのつながりを感じられ、温かみのあるところ
- ・結いの精神、思いやりの精神、相手のして欲しいことに気づけること
- ・人の温かさ、仲間を大切にすること、心ふれ合う村
- ・4つの愛、人との交流（少人数であるが、結びつきがほどよい）



《伝統、教育など》

- ◎村の歴史や文化、伝統
- ・郷土芸能
- ・郷土料理のうまさ
- ・地域の伝統を重んじ、継続に努めているところ
- ・葛尾大尽屋敷跡公園は、浜通地方でも見られない邸宅跡なので、磨崖仏と共にしっかり管理し、子どもたちにも伝え、村外にPRするなど活用してほしい
- ・祖先があつて今があるという気持ち。皆、誰かに支えられて生きているという気持ち
- ・葛尾に限ったことでないかもしれませんが、本当に困っている方がいると、我が身のことのように助けてくれる方がほとんどでないかと思います
- ・地域の方々が教育に協力して下さるところ。子育てや学校の設備が充実しているところ・子どもたちがのびのび元気に育つよういろいろ考えてくださるところ、など

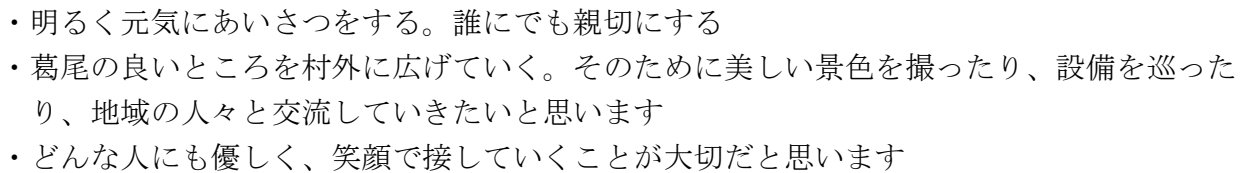
【考察】

多くの方々が、「人の温かさ」と「つながり」、「自然の美しさ、豊かさ」を挙げています。さらに「伝統（文化財や郷土料理など）」と。昨年度の内容と大きく変わりませんが、「教育環境」「教育支援」等を良さとしてあげる方が複数名いたことは、コロナ禍の中でのICTを活用した教育活動等の取り組みが評価されたと思われます

4 「このような葛尾村に住みたい、と思う村をめざすために、自分はどのようなことに努めることが大切だと思いますか（抜粋）」

（児童・生徒）

- ・かつらおでバイトをする。べんきょうをがんばる
- ・かつらおむらのことを、だれかにおしえたい
- ・勉強をがんばる
- ・自然は守り、店などをもう少し増やす
- ・村の皆さんと助け合ったり、文化を大切にしたりしたい
- ・村民の皆さんに笑顔になってもらう（今よりたくさん）
- ・他人でも協力できる村。そのために、初めて会った人でも話しかけられるようにしたい
- ・新しく入ってきた人が、なじみやすい村を目指すために、自分は、新しく入ってきた人に優しく丁寧にしていきたい



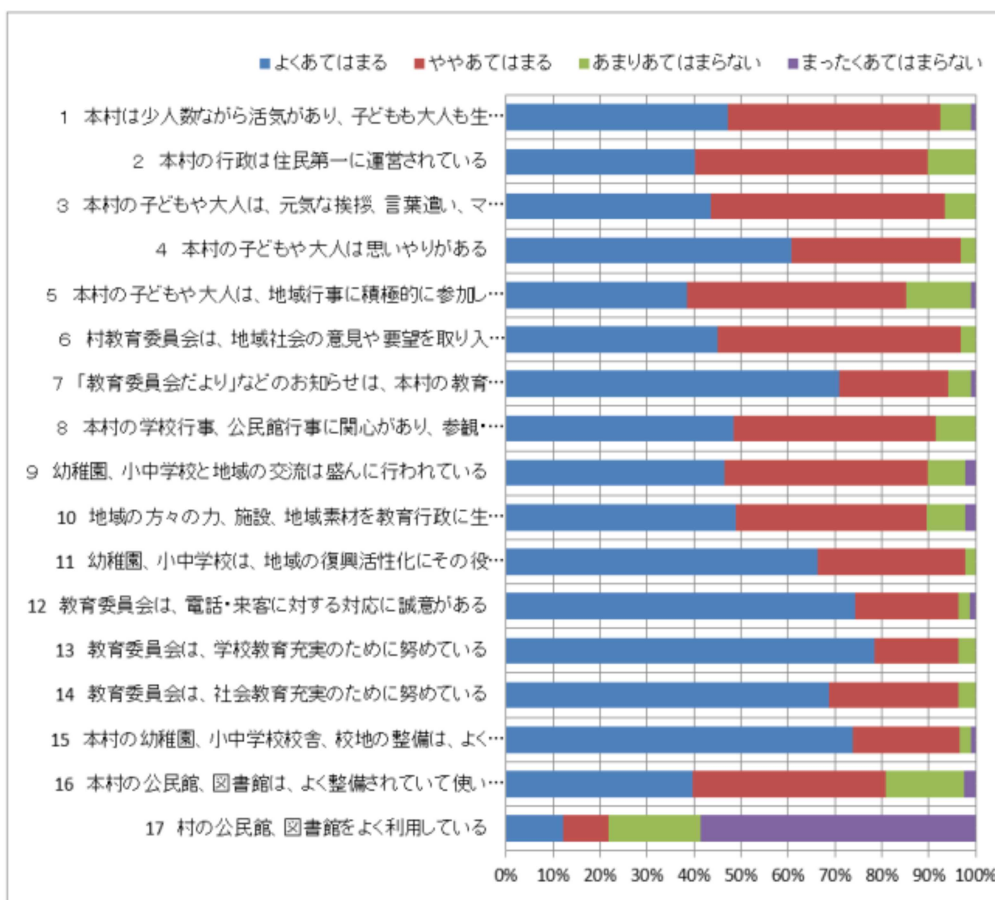
（教職員）

- ・幼児教育に携わる者として、幼児教育の充実に努められるよう勉強を継続していくことが大切だと思います
- ・私は、教育者という立場で、村の将来や日本の将来をつくっていく人材育成に、しっかり取り組むことだと考えています
- ・子どもたちと村の良さを語り合う中で、村に誇りを持てるようにする
- ・今ある資源（ＩＣＴ機器）を有効に活用できるよう努めること
- ・生活する上で、便利さだけにとらわれない考え方ができるような教育に努める
- ・教員として、子どもたちを第一に考え、子どもたちが将来社会に出て活躍できるような力を身につけさせることに努めたいと考えています
- ・教員として児童の学びが豊かになるように指導力を高める。村の行事に積極的に参加する
- ・一つ一つの仕事を丁寧に行い、信頼してもらえよう努めることが大切だと思います、など

【考察】

多くの方々が、自分の得意分野で、また置かれている立場で、自分自身が努力したいことを挙げているのは素晴らしいことです。また、「情報等の発信」「ＰＲ」「交流」などとともに、よりよい村づくりを目指して、教育委員会としては、課題を明確にしてその解決に努めるとともに、学校教育、社会教育の充実のため、子どもたちの気持ちをはじめ、皆さんの思いを形にしていけるように努めたいと考えています

5. 村教委・幼少中学校等の取り組みについて、次の各項目であてはまるところに○印を



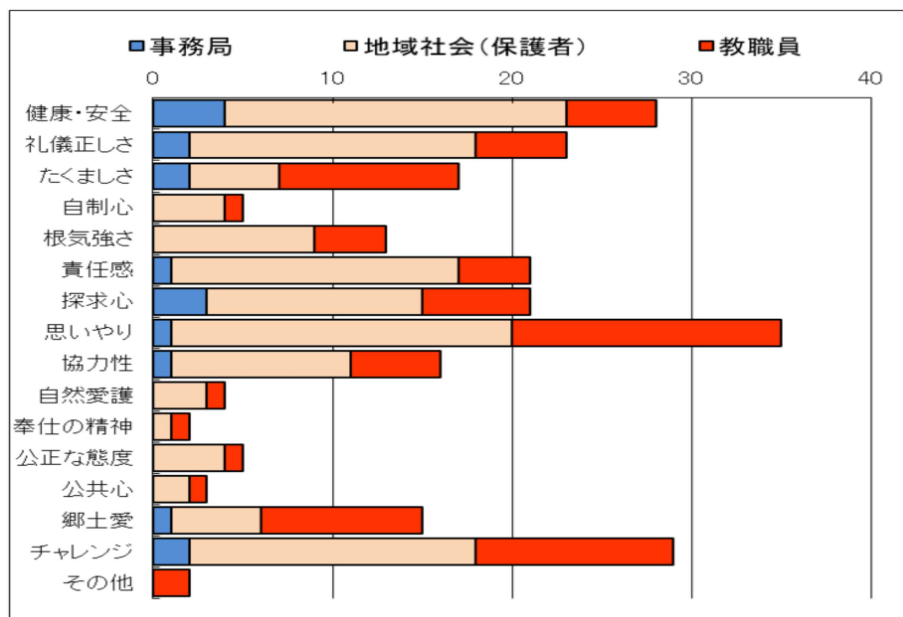
【考察】

多くの項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価を得ており、昨年度に比較しても、その割合が多くなっています。前年度最も評価の高かったのは「9 幼稚園、小中学校の地域との交流」「13 教育委員会の努力」「15 園、校舎の整備」でしたが、今年度は、コロナの影響もあり「9 交流」が伸び悩み、「13 教育委員会の努力」が高評価となりました。評価の低い

項目は、前年度同様「16・17 公民館の整備と利用」。読書人口を増やす取り組みとともに、その広報についても工夫が求められます

【幼稚園、小・中学校教育に関して】

1. 現在の葛尾幼小中学校の生徒に最も身につけさせたいことは、どんなことですか。



【考察】

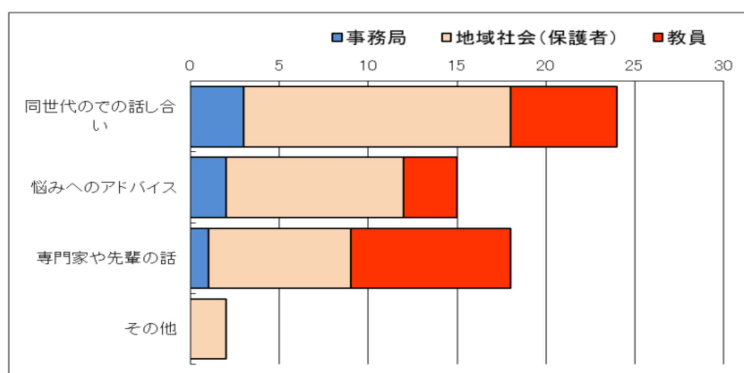
「思いやり」「チャレンジ精神」「健康安全」「礼儀正しさ」が多く、「探究心」「責任感」「たくましさ」「協力性」「郷土愛」「根気強さ」と続きます。前年度に比較すると1位「思いやり」は変わらず、2位が「礼儀正しさ」から今年度は「チャレンジ精神」となりました。「責任感」も増加しました

2. 学校に対する意見、感想、励ましなど、どのようなことでも。

- ・いつも子どもたちのために尽力していただきありがとうございます。一人一人の学力に合わせることで着々と学力も向上していると感じます
- ・人数が少ないけど、先生が頑張ってみんなで育ってる感が素晴らしい
- ・少人数であることでひとりひとり丁寧に対応していただいているのが、子どもの成長を見ていて感じます。いつもありがとうございます
- ・とてもしっかりとした元気な子どもたちを見ると、教育環境がよいと思われるので、今後も継続していただきたい
- ・少人数のため、メリット・デメリットはありますが、メリットを最大限に活かし、変動する社会に対応できるような人になって下さい。幼稚園から中学校まで共に学校生活を送りながら、助け合い、協力し合っている姿が、愛おしいです。
- ・クラスメイトが少ない状況が続いていますが、他校との交流を深めるなどして、これからも頑張ってください
- ・少人数のため、すべての子どもに出番があり、みんな生き生きしている
- ・コロナによる様々な制限がありますが、落ち着いたら地域と積極的に関わる活動をしていきたいと思います、など

【家庭教育全般に関して】

1. 家庭教育に関わる行事や研修などで、このようなものがあれば参加したいと思うのは、どのようなものですか。



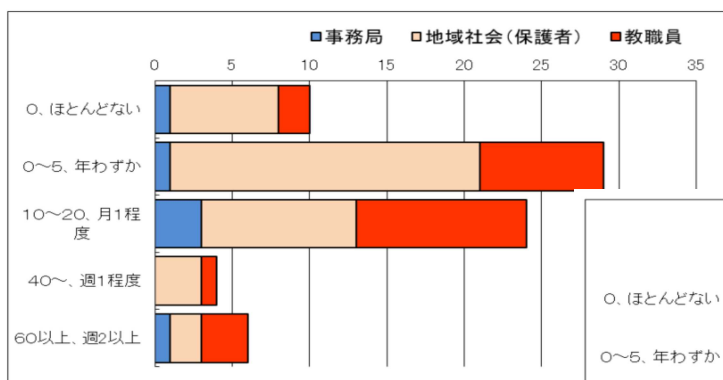
【社会教育に関して】

2 葛尾村の公民館行事などで、改善点があれば。

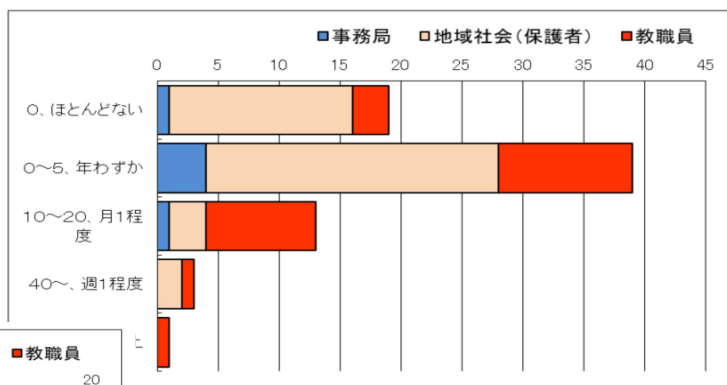
- ・告知など、知らない人にもっとやっていることを広く知ってもらいたい
- ・移住して2年目になったばかりで、まだまだ分からないことが多いので、まずは、既存の取り組みをもっと知っていきたいです
- ・難しいかもしれませんが、若い人の参加が望まれます
- ・今以上に広報に力を入れれば、もっと多くの人目に触れる機会が増えると思います
- ・ホームページやSNSを活用した広報
- ・伝統・文化等をもっとアピールすればよいと思う
- ・教室生が考えた教室・行事を取り入れる、体験教室の実施
- ・住民が分散しており、帰省者も少なく、人集めも大変だと思います。葛尾村の人は、控えめな方が多いので、声かけをすることが大切だと思います
- ・若い世代も集まりたい、参加したいという行事を
- ・文化の異なる他の地域の人々や外国人に、葛尾の暮らしや仕事等を積極的に紹介し、もっと多くの人々が葛尾村を知ることができるようにしてほしい、など

3. 習い事や趣味の活動は、どのようなものですか。

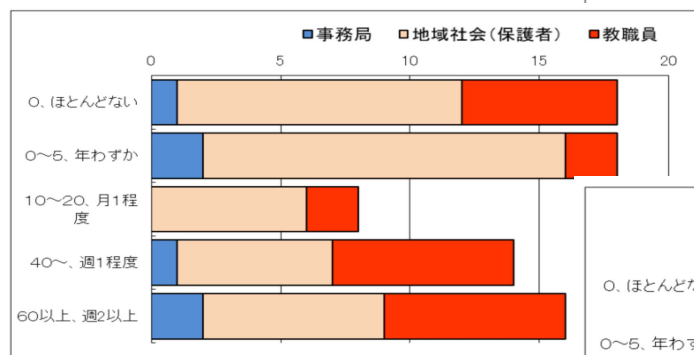
(1) 1年間に読む本の冊数は



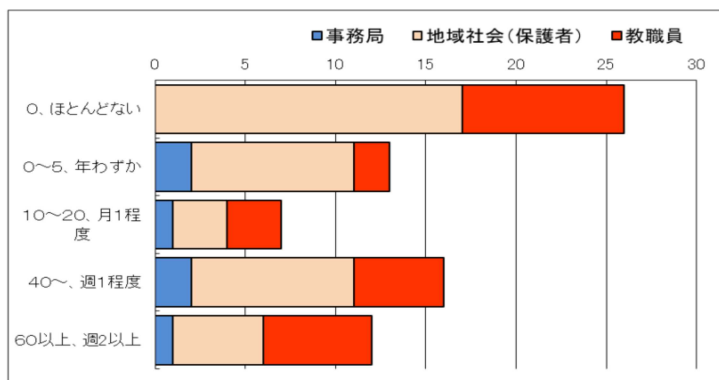
(2) 文化・芸術に直接ふれる機会は (音楽・演劇・美術館訪問など)



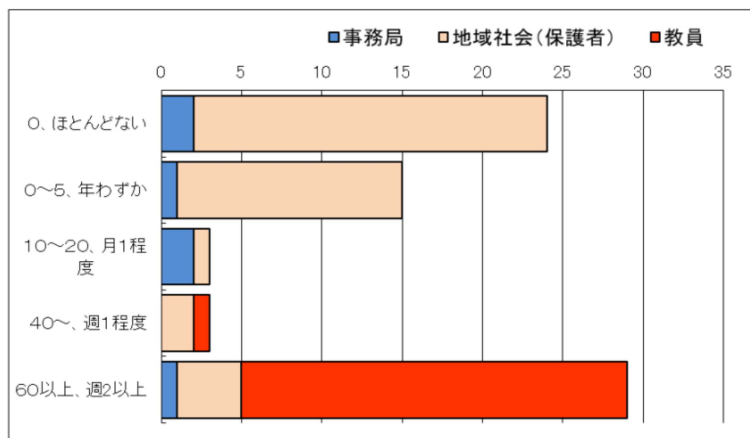
(3) スポーツや運動をする機会は



(4) 習い事や趣味の活動は



(5) 幼小中の子どもたちとふれ合う機会は



【考察】

スポーツや運動する機会、自分の趣味を持ち、活動している割合は高い。ただ、「ほとんどない」「年にわずか」という方も約5割です。今後も、文化芸術、本との出会い、子どもたちとの交流の機会を大切にしていきたいものです

【教育全般を通して】

- 教育委員会や公民館へのご要望等がありましたら、ご記入願います。(検討してまいりたいと考えます。お応えすることができないこともあることを、あらかじめ御了解願います。)

(保護者)

- ・あいさつは、率先してやってほしい。村民の代表的な(存在だから)
- ・もう少し「あぜりあ」が活用できるといいなと思う
- ・能、四季を感じる行事を計画してほしい

(地域住民)

- ・高校生に対して、教育委員会で何らかの支援を検討しても良いのではないのでしょうか(義務教育から社会教育への継続ができない状況になっているのでは?)
- ・若い人の活動を推進していただきたい(震災前は、青年会、青年学級等で、他地域との交流もあった)
- ・図書館をより使いやすい物にしていただけると嬉しいです
- ・村民に一番近い存在であってほしい
- ・最先端の教育環境が整えられていると思います。このことをアピールして、若い世代、子育て世代の移住者の増加に、つなげていってほしいと思います
- ・アプローチについては、それぞれで異なりますが、希望あふれる未来の地域づくりに共に取り組んでいきましょう
- ・年齢層広く集まれる機会がなかなかないと感じるので、平日、休日問わず、そうした集まりがあれば良いと思う(乳幼児のいる若い親世代と、子育ての先輩である中～高年者が集まる場所など)

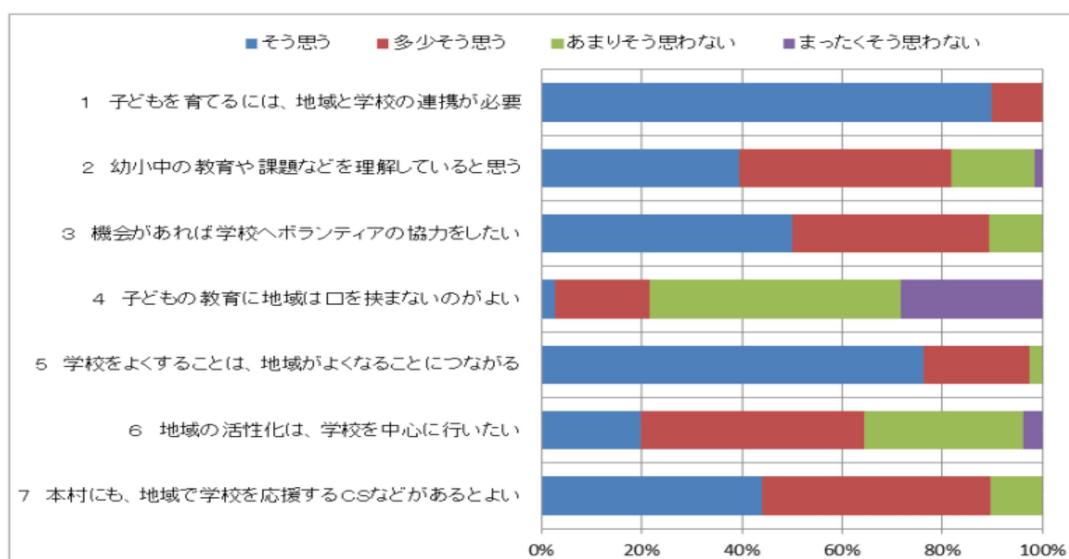
(教職員)

- ・ALTとして働いていて、教育の一環として多くの文化に触れることができ、とてもこの村の教育全般に対して素晴らしいと思います。子どもたちも同じ思いを持ってくれていると嬉しいです
- ・除染活動の難しさがありますが、子どもたちが葛尾村の森林での伸び伸び遊んだり、探検したりできる環境を整えていただくと、葛尾の自然に親しむ体験ができ、良い原体験として心に残ると思います
- ・軽登山、ウォーキングなどは、特別な技術がいらないので、参加しやすいです、など



【コミュニティースクール “学校運営協議会制度” に関して】

1. 学校と地域の連携について、自分の気持ちに近いところは？



2 コミュニティースクール（「学校運営協議会制度」）に対するお考え、ご意見等があれば。

（保護者・地域住民ほか）

- ・地域の人みんなで、子どもを育てるという村になって欲しいです
- ・地域住民が理解し、現在の子どもたちの心の変化を見ることが出来る小さな村だからこそ、大人は子どもに寄り添い、子どもは大人を敬う等、教科書の教育ばかりではなく、社会の教育も大切だと思います。内容が分からなければ、応援するきっかけにもならない
- ・学校運営を知る機会にもなり、よりよい教育の場が設けられ、とても良いことだと考える
- ・理想は、制度を作らなくても、地域の方、教諭、保護者が、教育について活発に議論し、向上していける環境がよいと思います。身近に教育(学び)がある環境は、素晴らしい
- ・制度にこだわることなく、地域との連携を築くことが大切と思う
- ・地域の方々は、子どもへの関心は高いと思うので、屈託のない意見を気軽に交換できる場があるとより良くなるのかなと思います
- ・私たちは、学校から聞こえる子どもたちの声にいつも元気をもらっています。地域の方々も、子どもたちを応援する気持ちはあると思います

（教職員）

- ・一般的なものではなく、葛尾の実態に合わせた形のものがあると良いと思います
- ・村に関わるすべての人々が、子どものために良いと思うことをどんどん行っていける環境であれば良いと思います
- ・コミュニティースクールを通じて、村の方々の願いと学校教育が、より合致するとよいと思います
- ・必要だと思います。是非立ち上げて下さい、など

【考察】

多くの方が、子どもの教育には「地域と学校との連携が必要」であり、「学校をよくすることが地域をよくすることにもつながる」と考えており、「ボランティアの協力」も惜しまないと回答しています。ただ、「幼小中の教育、課題」については、十分に理解されているとはいえません。「コミュニティースクール」の導入については、賛成の方がほとんどです

＊ アンケートへの御協力誠にありがとうございました

